

平成29年度  
第1回横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業効果検証有識者会議 事業効果検証シート(一覧)

①「地方創生加速化交付金(平成27年度からの繰越事業)」を活用して実施した事業(3事業)

No	① 「交付対象事業の名称」 事業概要	②				③		④		⑤		⑥	
		実績額 (単位:円)	本事業における重要業績評価指標(KPI) 指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
1	<b>「横手市情報発信戦略プロジェクト事業(横手情報センター連携事業)」</b> ■横手市情報発信戦略プロジェクト事業 ・民間を含めた情報発信ワークショップ、市民による広報活動推進 ・外部招へいアドバイザーによる情報発信(「横手の宝」魅力アップ) ・動画や最新情報ツールを使った広報活動の推進 ■横手市情報センター事業 ・行政情報のみならず、市の様々な情報を整理・加工し、市の魅力を分かりやすく内外に発信できる体制を整えた横手市情報センターの管理運営	17,127,981	横手市情報センターへの掲載依頼数(月平均)	40	件	平成29年3月	52	情報発信体制強化が図られ、当市の魅力等を発信することができた	総合戦略のKPI達成に有効であった	・楽しさ、面白さなどを伝えるため、魅力的な内容にあわせて分かりやすい内容を検討すべき ・内容を再検討したうえでPR強化し、ダウンロード数を増やような手だてが必要 ・委託先が自立運営できる仕組みづくりを構築すべき	事業の継続	■横手市情報センター(民間)が、広告収入等で自立できるよう、バックアップするとともに、市内の様々な情報を収集し、魅力ある内容により情報発信する ■多言語情報を増やして世界中への情報発信についても推進する	
2	<b>「横手産品販路拡大事業(海外販路開拓支援事業)」</b> ■海外販路開拓支援事業 ・海外販路開拓に向けた調査・検証 ・海外販路拡大を目指す事業者等へのサポートや有望国での市場調査実施	2,191,185	生産者商談スキルの向上(商談機会提供数)	8	件	平成29年3月	8	事業者の海外販路開拓による所得向上と地域経済の活性化への道が開かれた	総合戦略のKPI達成に有効であった	・どのエリアにどのような手法でPRしていくのか検討すべき ・国内を見据えたうえで海外での販路を考えるべきでは ・消費者ニーズや生産者の課題を洗い出したうえで計画を望む ・若手が後継者として農業に就労できるような施策を検討すべき	事業の継続	■海外販路開拓を希望する新規事業者の発掘、育成する ■海外販路アドバイザーの継続依頼と、新規輸出支援希望事業者への海外市場等アドバイスを行う ■国内外貿易商社に対する横手産品(輸出支援希望商品)の紹介及びマッチングを行う ■輸出支援希望事業者の自立に向けた貿易実務の勉強会の開催する ■包括連携協定に基づき、(株)北都銀行バンコク駐在員事務所と連携した調査・商品マッチング活動を実施する ■支援希望事業者の輸出有望国における認知度向上、および現地消費者ニーズを把握する機会の創出する	
3	<b>「よこて観光地域づくり推進事業(地域DMO構築事業)」</b> ■よこて観光地域づくり推進事業 ・平成29年3月に設立された一般社団法人横手市観光推進機構とともに、多様な関係者と連携を図り、地域一体となった観光地域づくりを進める	11,120,338	よこて版DMOの設立と組織の継続	1	組織	平成29年3月	1	交流人口の増加や、市内経済の好循環を促すための組織体制を整えることができた	総合戦略のKPI達成に有効であった	・DMOと行政の役割の明確化が必要 ・駅周辺の魅力づくりが必要 ・地域コンテンツの結びつけや関係機関との連携の在り方、および人々をやる気にさせるような仕組みづくりが必要	事業の継続	■DMO組織後の事業計画の着実な推進と地域住民を巻き込んだ観光地域づくり、そして地域経済波及効果の創出、観光情報の一元化を目指す	

②目標に対して、実績に大幅な増減がある事業(3事業)

No	① 「事業の名称」 事業概要	③ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				④ 本事業終了後における実績値		⑤ 外部有識者からの評価		⑥ 実績値を踏まえた事業の今後について		
		② 実績額 (単位:円)	指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
1	<p>「若年者等人材育成・地元定着支援事業(若年者等人材育成・地元定着支援事業)」</p> <p>■若年者等人材育成・地元定着支援事業 ・18歳以上40歳以下の市民が就業等に必要資格の取得等に係る経費の一部に助成</p>	5,578,000	若年者等人材育成・地元定着支援事業を活用し資格取得等した人数(補助対象人数)	80	人	平成29年3月	123	若者が安心して地元で就労できるよう人材育成事業を行い、資格取得に結びつけた	総合戦略のKPI達成に有効であった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業側との連携を更に密に事業を推進すべき</li> <li>・平成28年度の実績を踏まえ補助内容を一部変更しているため、経過観察したい</li> </ul>	事業の継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>■本来の趣旨である求職者と求人とのミスマッチ解消ならびに若年層の定住促進のため、個人向けに特化して事業を実施する</li> </ul>
2	<p>「横手産品販路拡大事業(横手産品販路拡大推進事業)」</p> <p>■横手産品販路拡大推進事業 ・首都圏仙台圏の店舗催事等を活用した農産品・農産加工品のPR ・販促活動・テストマーケティングの実施 ・バイヤーとのマッチング等商談機会創出による販路拡大支援や、セミナー等の開催による人材育成支援</p>	6,851,401	生産者商談スキルの上昇(商談機会提供数)	10	件	平成29年3月	23	事業者の国内販路開拓による所得向上と地域経済の活性化への道が開かれた	総合戦略のKPI達成に有効であった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規地域での販路開拓すべき</li> <li>・GI必須である食品検査を他の食品についても実施すべき</li> <li>・就農希望の際、参考とすべき農家収入指標が必要ではないか</li> </ul>	事業の継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>■仙台圏・首都圏</li> <li>・小売店、友好都市などと連携した販促活動を行う</li> <li>・テストマーケティングへの支援を行い、新たな販路拡大と既存の販路強化する</li> <li>・参加事業者の自立を支援する</li> <li>・高校生や若手農業者に研修や体験の場を提供し、担い手となる人材の育成を図る</li> <li>・伝統野菜や特産品の品質向上、販路拡大支援を関係機関と連携しながら推進する</li> <li>■海外</li> <li>・北都銀行との連携協定を活用した新たな販路拡大支援を実施する</li> </ul>
3	<p>「「男」の育児休業取得促進事業」</p> <p>■「男」の育児休業取得促進事業 ・10日以上育児休業を取得した男性労働者を雇用する事業主に対して奨励金を支出【10日以上育児休業を取得した男性労働者を雇用する事業主(1回限り):30万円】</p>	600,000	男性が10日以上育児休業を取得した事業所(10事業所/毎年)	10	事業所	平成29年3月	2	「ワークライフバランス」の実現としては若干課題が残ったものの、働き方改革の推進という意味では一歩前進した	総合戦略のKPI達成に有効であったが、事業内容の見直し検討の余地有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児休業期間の設定を10日から日数を下げて実施し、徐々に意識改革が必要</li> <li>・働き方改革ということで就業スタイルを構築することが急務</li> </ul>	事業の継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>■仕事と生活の調和等に積極的に取り組み、男女ともにイキイキと働くことができる職場づくりを進めるため、更なる周知強化を図る</li> </ul>